

H134		白書で学ぶ現代日本	
英名科目名	Lectures on Contemporary Japan in White Paper		
大学名	京都先端科学大学		
連絡先	教務センター（京都太秦キャンパス） TEL：075-406-9123		
担当教員	久下沼 仁筈（経済経営学部・経済学科教授）		
開講期間	2021年09月17日(金)～2022年01月14日(金) 5講時 16時00分～17時30分(毎週金曜日) 休講2021/10/29(金)は学園祭準備のため 2021/12/23(木)～2022/1/5(水)の期間は授業なし		
開講形態	後期・秋学期	開講曜日・講時	金曜日 5講時
単位数	2	履修年次	
会場	京都太秦キャンパス		
授業定員			
単位互換生定員	20	京カレッジ生定員	10
試験・評価方法	(1) 毎回の受講レポート60% (2) 授業内試験20% (3) 授業内発表10% (4) レポート10%		
超過時の選考方法	書類選考		
受講料	科 14,000円（初回登録時に登録料として30,000円が別途必要）聴 無料		
別途負担費用	なし		
その他特記事項	<p>受講条件・受講のルール・学修上の助言など：</p> <p>1. 時事問題への理解を深め、また日本経済の今後の動向について一定の見通しを得ることは、就職活動に向けた準備の一環として役立つはずである。</p> <p>2. 卒業論文のテーマになり得る項目が多く取り上げられるので、研究テーマの選択肢を整理し比較することを意識して受講して下さい。</p> <p>3. 私語、途中退席、居眠りなど、問題のある受講態度には厳しく対応します。複数回の注意で改善が見られない場合、受講禁止とすることもあります。</p> <p>教室について： 決定次第、「お知らせ」へ掲示します。不明な点があれば連絡先まで問い合わせください。</p>		
パッケージ科目			
低回生受講推奨科目			
講義概要・到達目標			
<p>【講義概要】</p> <p>(1) 本講義は政府機関が発表している様々な白書および報告書を、実際にその作成に携わった政府関係者より説明して頂き、現代日本の社会経済状況および政策課題を様々な側面から系統立てて理解することを目的としています。また、全ての白書は、その時の政権与党が取り組む主要な政策課題とそれに対する具体的な政策対応に関する説明に多くのページを割いていることから、現在の政府が日本をどの方向に舵取りしようとしているのかを理解するうえで有益な講義になるはずで。</p> <p>(2) 国会提出や閣議了解を必要とする白書は内閣の統一見解としての性格を有するため、原案作成を担当する各省庁は、他の関係省庁など政府各方面と協議を行って作成しています。本講義では、各省庁間の現場で展開される協議・調整についても一定の解説が期待でき、各政策課題が抱える複雑な構造を一定程度理解できる機会となるはずで。</p> <p>(3) 白書の基本的な構成は、現状分析、これまでの政策の効果と今後の政策課題、特集、というケースが多い。特に、特集は、その時々社会的関心が高いテーマや政権が力を入れる政策課題に焦点を当てるため、時事問題に関する理解・知識を固めるには絶好の教材です。特に、各政策課題に対する政府の取り組みによって期待される効果とその根拠を確認することができます。</p>			

(4)

2020年度の講義に取り上げた白書および報告は以下の通りです。可能な限り、重要な政策課題に関係する白書やそれらに関連する報告を優先的に取り上げる予定です。

『国土交通白書』（国土交通省）『情報通信白書』（総務省）
『食料・農業・農村白書』（農林水産省）『環境白書』（環境省）
『労働経済白書』（厚生労働省）『経済財政白書』（内閣府）
『現代日本の政策課題への視座』（北神圭朗氏）
『防衛白書』（防衛省）『通商白書』（経済産業省）
『観光白書』（観光庁）
『危機管理としての新型コロナへの社会的対応』（浅野竜一氏）
『新型コロナ感染拡大と社会的差別』（京都新聞社）

【到達目標】

現代日本が直面する政策課題を理解する。
日本政府の各政策の期待される効果とその根拠を理解する。
日本政府の各政策に関するリスクや副作用を理解する。

講義スケジュール

第01回

講義の概要、受講ノートの書き方、事前学習の進め方、現代日本の政策課題の概要、『経済財政白書』のポイント
教育方法 講義と質疑応答
授業外学修 シラバス確認 『経済財政白書』の概要

第02回

白書1
教育方法 講義と質疑応答
授業外学修
予習：省庁のHPより、当該白書の関連資料を取り込み、目次立てと主要政策課題を確認しておく。
復習：授業内で挙げられた5つのキーワード/重要箇所を見直して、自分の理解を確認しておく。

第03回

白書2
教育方法 講義と質疑応答
授業外学修
予習：省庁のHPより、当該白書の関連資料を取り込み、目次立てと主要政策課題を確認しておく。
復習：授業内で挙げられた5つのキーワード/重要箇所を見直して、自分の理解を確認しておく。

第04回

白書3
教育方法 講義と質疑応答
授業外学修
予習：省庁のHPより、当該白書の関連資料を取り込み、目次立てと主要政策課題を確認しておく。
復習：授業内で挙げられた5つのキーワード/重要箇所を見直して、自分の理解を確認しておく。

第05回

白書4
教育方法 講義と質疑応答
授業外学修
予習：省庁のHPより、当該白書の関連資料を取り込み、目次立てと主要政策課題を確認しておく。
復習：授業内で挙げられた5つのキーワード/重要箇所を見直して、自分の理解を確認しておく。

第06回

白書5
教育方法 講義と質疑応答
授業外学修
予習：省庁のHPより、当該白書の関連資料を取り込み、目次立てと主要政策課題を確認しておく。
復習：授業内で挙げられた5つのキーワード/重要箇所を見直して、自分の理解を確認しておく。

第07回

白書6
教育方法 講義と質疑応答
授業外学修
予習：省庁のHPより、当該白書の関連資料を取り込み、目次立てと主要政策課題を確認しておく。
復習：授業内で挙げられた5つのキーワード/重要箇所を見直して、自分の理解を確認しておく。

第08回
中間のまとめ・復習
教育方法 授業内試験、重要ポイントおよび試験の解説
授業外学修
予習：白書1～6の重要箇所を再度見直し、自分の理解を確認しておく。

第09回
白書7
教育方法 講義と質疑応答
授業外学修
予習：省庁のHPより、当該白書の関連資料を取り込み、目次立てと主要政策課題を確認しておく。
復習：授業内で挙げられた5つのキーワード/重要箇所を見直して、自分の理解を確認しておく。

第10回
白書8
教育方法 講義と質疑応答
授業外学修
予習：省庁のHPより、当該白書の関連資料を取り込み、目次立てと主要政策課題を確認しておく。
復習：授業内で挙げられた5つのキーワード/重要箇所を見直して、自分の理解を確認しておく。

第11回
白書9
教育方法 講義と質疑応答
授業外学修
予習：省庁のHPより、当該白書の関連資料を取り込み、目次立てと主要政策課題を確認しておく。
復習：授業内で挙げられた5つのキーワード/重要箇所を見直して、自分の理解を確認しておく。

第12回
白書10
教育方法 講義と質疑応答
授業外学修
予習：省庁のHPより、当該白書の関連資料を取り込み、目次立てと主要政策課題を確認しておく。
復習：授業内で挙げられた5つのキーワード/重要箇所を見直して、自分の理解を確認しておく。

第13回
白書11
教育方法 講義と質疑応答
授業外学修
予習：省庁のHPより、当該白書の関連資料を取り込み、目次立てと主要政策課題を確認しておく。
復習：授業内で挙げられた5つのキーワード/重要箇所を見直して、自分の理解を確認しておく。

第14回
白書12
教育方法 講義と質疑応答
授業外学修
予習：省庁のHPより、当該白書の関連資料を取り込み、目次立てと主要政策課題を確認しておく。
復習：授業内で挙げられた5つのキーワード/重要箇所を見直して、自分の理解を確認しておく。

第15回
最終のまとめ・復習
教育方法 授業内試験、重要ポイントの試験の解説
授業外学修
予習：白書7～12の重要箇所を再度見直し、自分の理解を確認しておく。
レポート課題：日本の政策課題に関するレポートを作成し、指定の期日までに提出する。

教科書	毎回の講義で解説資料等を配布する。
参考書	各白書の本文や概要は、省庁のHP上で閲覧・ダウンロード可能ですので、是非とも活用して下さい。また、その年の白書だけでなく、過去の白書も参考資料として有用です。